

「言葉を集め、言葉カレンダーを作ろう」

～多様な語句の意味を理解し、適切に使う～

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題が見られました。語句を文脈の中で適切に使うためには、多様な言葉に触れて理解を深めることが大切です。そこで、本アイデアでは、「言葉カレンダー」を作成する学習を提案します。様々な方法で情報を収集し、言葉を選択する過程で、語感を磨き語彙を豊かにすることを狙いとします。

課題の見られた問題の概要と結果
A8 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 A8三 正答率 **60.0%** 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。

学習指導要領における領域・内容
 [第1学年] 伝国(1)イ(ウ)

授業アイデア例

- グループで担当する月を決め、その月にふさわしい情報を様々な方法で集める。

これから、いろいろな種類の言葉を集めて「言葉カレンダー」を作り、知っている言葉の数を増やしましょう。様々な書籍やインターネット、身近なところからも情報を集めましょう。



〈使用する資料〉 歳時記や辞典などの書籍、インターネット、身近な人に尋ねたこと など

カレンダーの内容の例

- 季節に関連する言葉
 - ・ 季語 ・ 二十四節気 ・ 時候の挨拶 ・ ことわざ
 - ・ 四字熟語 ・ 俳句 ・ 短歌 ・ 文学作品の一節
 - ・ 方言 など



カレンダーを作成する生徒の様子

- 集めた情報を基に、カレンダーの下書きを作成する。
- ②で作成した下書きを別のグループと交流する。
- ③で得た情報を生かして、12か月のカレンダーを完成させる。

〔言葉カレンダーの例〕

平成26年9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1 長月 陰暦9月の別称。	2 はぎ、なでしこ、 すすき、ききょう (秋の植物)	3 さんま、とんぼ、 さつまいも (秋の季語)	4 しゃっこい 「冷たい」の意味。 (方言)	5 体育大会 一致団結 多くの人が心を 一つに合わせて、 強く結ばれること。 (四字熟語)	6 初秋の候 (時候の挨拶)
7 君待つと 我が恋ひ居れば 我が屋戸の すだれ動かし 秋の風吹く <small>ぬかたの秋のきりぎりす</small> 額田王 (和歌)	8 白露 秋の気配が強くなり、 白く露の結び始める頃。 (二十四節気)	9 秋は夕暮れ (「枕草子」の一節)	10 	11	12 名月や 池をめぐりて 夜もすがら <small>まつおほしほし</small> 松尾芭蕉 (俳句)	13 秋の日は つるべ落とし 秋の日は急速に 日が暮れる。 (ことわざ)

調べてみると、日本語には季節に関連する言葉がたくさんあることに気が付きます。



俳句や短歌では、季節の言葉が効果的に使われています。

たくさんの言葉を知ると、ものの見方や考え方が豊かになりますね。



本授業アイデア例 活用のポイント

- 生徒数に応じて、週めぐりにするなどカレンダーの形態を工夫するとよい。
- カレンダーは、パソコンを使って作成するのもよい。完成したカレンダーを教室や廊下に掲示することによって、ふだんから季節の言葉や方言などを話題にしていきたい。